



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば - インボイス制度への対応

理事 岩崎 和

来年の 10 月 1 日から導入されるインボイス制度(「適格請求書等保存方式」とは、消費税の適正な仕入税額控除を行うための新たな制度です。売手の免税事業者からの仕入れについても仕入税額控除が可能であり、消費税が売上げの一部となっていた現行制度を改善するとともに、2019 年に導入された軽減税率に伴う消費税制度の分かりにくさを解消するために、取引の正確な適用税率と消費税額を把握することを目的としています。そのための手段がインボイス(適格請求書)になります。課税事業者と課税事業者と取引のある免税事業者がその影響を受けますが、免税事業者である小規模法人こそ真摯に対応すべき問題と捉える必要があります。SEF の活動実態を念頭に置いて、次回理事会にて討議する予定です。

具体的には、①課税事業者になるために適格請求書発行事業者としての登録申請(来年 10 月 1 日を登録日とする場合は来年 3 月末日が受付期限)、②請求書上での項目追加やレイアウトの変更、③免税事業者(特に SEF の場合は個人会員)との確認、④本則課税か簡易課税の適用かの検討、等が必要になってきます。これらへの対応は、事務局を主体に進めていく所存ですが、上記③を始めとして会員の皆様のご協力をお願いいたします。

11 月度理事会より (第 230 回 11 月 16 日)

事務局

1. 理事検討会の開催	→可決承認	5. 「子供向けロボット教室」の事業化検討・調査活動中間報告	→報告了承
2. 2022 年度理事会経費の支払い	→可決承認	6. 2022 年 10 月度会員交流会議事録	→報告了承
3. MN-012 業務・会計監査マニュアルの改正	→可決承認	7. 2022 年 10 月度月次会計報告	→報告了承
4. 2022 年分支払調書のマイナンバー収集	→報告了承		

事業報告 (特命事項)

担当理事 黒澤東雄

“プロジェクト X”「あなたが創る活躍の場」は SEF が進める、「よりよい社会のために」・「ロマンと遣り甲斐を求めて」を具現化することの提案です。特命事項 G はいち早く「子供向けロボット教室」を非営利目的で事業化できないかとの検討に取り組んでいます。教室の実務内容に係るカリキュラムの作成や教材の選定、そして生徒会員の指導に当たる講師 G の編成には一応の目途がたち、現在は教室の運営と会員の管理を担ってくれる共催団体を求めている状況です。相応しい相手探しは中々難しい面がありますが、地域社会貢献活動に熱心な中堅企業や、中国などの海外製教材が多い中で国産での教材開発に注力するメーカ企業にターゲットを絞って、「教室」開催の実現に向けた活動を継続して行きます。将来を担う子供たちに理工系分野への関心を膨らませてもらうと共に、地域でのシニアと子供たちの交流の場の実現に向けて SEF 会員の皆様の一層のご協力をお願いします。

SEF サロン (第 125 回報告・第 126 回案内)

担当理事 白崎善宏

《 第 125 回報告 》

日時:2022 年 11 月 16 日(水)、15 時~16 時 30 分 Zoom 方式 講師: 加茂 徹 早稲田大学・ナノプロセス研究所教授
 題目:「ゼロカーボンを目指す社会における資源循環」

概要: 2050 年までに温暖化ガスの発生を実質ゼロにするために、エネルギー資源の非化石化や有機資源の循環利用は不可欠である。その中でプラスチックを中心に資源循環の現状を解説があった。わかりやすい説明に伴って、聴衆からも多くの意見、質問が寄せられ有意義な講演であった。

《 第 126 回案内 》

日時:2023 年 1 月 26 日(木)、15 時~16 時 30 分 Zoom 方式 講師: 坂下幸司 SEF 理事 ケーズプロセス技研代表
 題目:「個人ユーザーから見た PC・スマホにおける ICT ビジネスの世界」

11 月度会員動向

事務局

会員の入退会 なし	11 月末日現在の会員数 正会員 : 23 名、 準会員 : 44 名 賛助会員 : 5 社+1 団体
--------------	---